



消防法の改正により住宅用火災警報器の設置が義務付けられることから、大成区西部町内会（中川薫会長）では、防犯防火運動の一環として、住宅用火災警報器を町内会全戸に設置しました。住民の中には火災警報器の義務付けを知らなかった方や、取り付けに対する不安の声がありましたが、今回の設置活動で会員のみなさんからは「安心」の声が多数聞かれました。

昨今の高齢化社会の中、こうした町内会独自の運動が地域住民の防火に対する意識の高揚と安全なまちづくりへとつながることと思います。

～ご存知ですか？消防法改正～

平成18年6月1日より消防法の改正により、全国一律に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

■新築・改築する住宅

平成18年6月1日から設置が義務となっています。

■今お住まいの住宅

平成23年6月1日から設置が義務となります。

編集後記

▼卒業式といえは、学生服の第2ボタン。あげたり、もらったりという甘酸っぱい青春の思い出がある方もいらっしゃると思います。なぜ第2ボタンかというと、1番心臓に近いところにあるので、意中の人のハートをつかむという意味で第2ボタンをもらおうという説があるそうです。この習慣は今でもあるのでしようか!? いつまでも続いて欲しい素敵な習慣ですね。▼卒業式の取材には、ティッシュが欠かせません。卒業生の関係者でもないのに勝手に感動して涙をこらえながら（時にはこらえきれない時も...）写真を撮っています。卒業生が退場するラストシーンでは、涙しながらも夢と希望に満ち溢れた輝く表情をしているのが印象的です。当時の自分もこうだったなとふと自分の世界に入ることにも。そして年齢を重ねることに夢と希望の大きさが小さくなってきているような気がしました。▼そして私（黒澤）も、広報を卒業することになりました。当時は思い出し、夢と希望をもって新たな第一歩を踏み出したいと思っています。広報を担当して3年5ヶ月。これまで情報提供や取材協力などあたたかいご支援を頂き心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後とも「広報せたな」の応援賜りますようお願い申し上げます。（黒澤・藤谷・稲船）

